

デンバー市（アメリカ）

・デンバー市の水道事業

水道事業体	デンバーウォーター Denver Water
面積	約400km ²
給水人口	約150万人
配水量	約75万m ³ ／日



デンバー市との意見交換

デンバー市の水道事業者であるデンバーウォーターは、積雪を主要な水源としていますが、乾燥や干ばつ、気温上昇といった気候変動の影響を受ける可能性が高い状況にあります。

このため、二酸化炭素排出量の削減を含む環境保護に関する取組を強化し、持続可能な水資源管理を目指しています。

環境対策への取組

～二酸化炭素排出量の削減～

2020年、デンバーウォーターは年間エネルギー消費量「ネットゼロ」という組織目標を達成しました。

この取組では、水力と太陽光というカーボンフリーの資源を使用し、消費したエネルギー以上のエネルギーを生成しています（2020年には使用したエネルギーよりも約150万kWh多く生産されています）。



デンバーウォーターのソーラーパネル

出典：<https://www.denverwater.org/tap/battling-climate-change-solar-hydro-and-shifting-fleet>



北京市（中国）

・北京市の水道事業

水道事業体	北京市自来水集团有限责任公司
面積	約16,410km ²
給水人口	約2,183万人
配水量	約1,000万m ³ ／日



北京市との意見交換

環境対策への取組

～中国水週間（中国水周）の実施～

中国では、国際連合が定める「世界水の日（3月22日）」に合わせ、中国水週間（中国水周）が設けられており、水資源に関する科学的な宣伝活動や、節水型社会の構築に向けた市民への啓発活動・イベント等を実施しています。

北京市は一人当たりの水資源量が少なく、市民の節水への取組が安定給水や渇水予防に大きく寄与するとの考えのもと、2025年は「水資源の質の高い発展を促進し、首都の水の安全を確保する」（推动水务高质量发展、保障首都水安全）をテーマに、各種プログラムを実施しました。

その一つとして、水資源保護に対する意識醸成のため、団城湖南水北調プロジェクト記念館において、市民を招いたツアーイベントが開催されました。

南水北調は、水資源の少ない北部地域の水資源量を確保するため、水資源が比較的豊富な南部から北京市まで、約1,300km[※]かけて水を運ぶ事業であり、現在では北京市で供給される水の約半分が南水北調由来の水となっています。記念館の見学を通して、参加者には水不足解消に向けた奮闘の歴史と、水の大切さについて啓発しました。

※東京駅～鹿児島中央駅の新幹線直線距離



中国水週間2025のポスター
出典：<https://swj.beijing.gov.cn/swdt-ztzt/2021sjrzgsz/index.html>

